

## 第2回 星陽中学校区地域部会 意見のまとめ

開催日：平成30年10月1日

会場：星陽中学校

### 1 現在の通学方法

○（中学校）路線バスでの通学生は8名いる。登校時は、7時台に学校に到着する便が3本ある。下校時は、16時、17時、18時に便があり、部活の終了時刻は、バスの時刻に合わせて決めている。雨天時や遅い時は、保護者の方が送迎されている。

バス通学生以外は、基本的に自転車で通学している。自転車で一番遠い場所は、学校から7、8kmある。

○（豊地小）。瑞穂地区の14人はスクールバスで登下校している。高畑地区4人はワゴン車タイプのスクールバスで高篠地区まで来て、そこから徒歩で登校している。スクールバスであっても、バス停や道路状況により様々な課題がある。低学年の児童は高学年の下校時刻を待って、一緒に下校することも増えている。人数が少なくなるので、下校時には気を遣っている。休日のバス運行にも検討課題がある。

○（口吉川小）学校の所在地が、校区の真ん中あたりにある。基本的には全員徒歩で通学している。集合場所から奥まっているような家もあり、遠い場所では、40分から50分かかる。集団下校であっても、一人になってしまう場所では、保護者の方に迎えに来ていただくこともある。

### 2 通学に関する課題

○高校生の登下校と重なった場合、バスが満員で乗れないことがある。全員が安心して乗れるよう路線バスを充実させる（大型、便数）ことが必要である。

○路線バスだけでは難しいと感じる。学校専用のスクールバスを出す必要がある。

○保護者はスクールバスが出るものと考えている。路線バスでは納得できないと感じる。

○三木中か吉川中になるとしても、自転車通学はやめてほしい。

○スクールバスを利用するようになり、通学の安全性や利便性を高めることが、学校再編のメリットと捉えることができる。

○スクールバスの場合、一筆書きのように家々を全て回るのでは、乗っている時間が長すぎるため、2ルート以上用意する必要がある。

○困難が予想されるが、便数を増やすなど、市がバス会社に働きかける必要がある。

スクールバスが全てではない。危険性はあるが、バスに乗ることは学ぶ場にもなる。

○学校と家との距離で画一的に区切るのではなく、適切な交通手段の確保はして欲しい。

○道路状況、交通量や不審者など心配がある。集団下校するにしても生徒が少ない。

○財政の問題も当然ある。朝夕は子どもたちが利用し、昼間は、地域の方もそのバスを活用できるようにするなど、地域コミュニティーバスとして活用する方法を考える。

○自転車とスクールバスを組み合わせる方法もある。しかし、雨天時などの課題がある。

○田舎なので（家が分散しているため）ある程度は、通学に関して、地域も家も協力する必要がある。

### 3 小中一貫校や義務教育学校について

- 小中一貫校を経て、義務教育学校にゴールが決まっているのであれば、急がずに準備をしっかりとした上で、義務教育学校をめざしたらいいのではないか。
- 学校再編については、急がずにすすめて欲しい。今の学校のスタイルは、今後大きく変わっていくと思われる。いろいろな施設、設備が不要になる可能性がある。
- 義務教育学校の9年は長すぎる。小中で環境は違うので、小中一貫校が現実的である。
- 子どもの数の計算で5校に再編するのでは、地域の意向などが考慮されていない。学校の再編（設置）が数合わせになるので、もう少し丁寧に説明して欲しい。
- 25年先を見越した将来の学校再編について検討するならば、もっと若い方の意見を入れて議論するべきだと考えている。
- 移行の仕方について、保護者や地域の事を聞いてもらえるのか。方向性の案を何パターンか提示されたが、地域の意見を聞いた上で、条件やパターンを示して欲しい。
- 地域に学校があるという良さがある。また、この地域の良さも教育して欲しいという願いがある。大きい学校に行きたいと思わない人もいる。ただし、1学級の人数はもっと多い方がよい。豊地小学校と口吉川小学校で授業や行事で繋がりを大切にしながら、それぞれの小学校は残してほしい。
- 口吉川の地域は過去に何度も、統廃合してきた歴史がある。口吉川小学校は残して欲しいという思いは強い。ただし、1学年20人～30人規模ではあってほしい。
- 豊地小学校は、今のままがよい。再編について何か決まれば、意見が出せるが、今は意見が出しにくい。

### 4 その他 全般について

- 地域性を知る機会がとて少なく、成人になっても、戻ってこない。公民館行事に参加することも大切だと思う。
- 防災上の関係からも、学校は安全な場所を確保して建設して欲しい。
- 豊地小学校の保護者の多くは三木に向いている。三木中学校まで6km、吉川中学校まで13kmと距離が長い。埋められない物理的な距離がある。また、吉川中については、いずれ1クラスになる。
- 今後の市としての進め方については、どうする予定なのか。豊地小学校では、12月にPTAで話し合いを持ちたい。小グループで話し合うなど、いろいろな意見を出し合い、具体的な案を出したい。この地域出身でない方が地域の思いを十分理解して、再編方法を決定できるかどうか疑問がある。自分たちで地域のことに責任をもちたい。
- 学校再編については、じっくり考えて方向性を出したいという地域の思いがある。一方、今いる子どもたちのことを考えていく必要もある。人によって温度差もある。
- 中学校は早期に決めていく必要があると考える。ただ、再編した場合、大きい集団では活躍できない子がいることも確かである。小規模の学校ならば、他の中学校区から、希望者を募って入学者を受け入れるようにして欲しい。
- 学校は、ゴルフやテニスなど、特色を押し出していく必要がある。政策により人を呼び込む方法を考えていくことも大切である。